

春と夜

平成22年1月30日(土)～4月18日(日)

会期中の休館日:毎週月曜日(3月22日は開館)、祝日の翌日(2月12日、3月23日)

「春は、あけぼの」と清少納言は言いますが、春は夜もなかなか良いものです。梅の香をたずね、桜の花を見上げながらの春の夜の逍遥は、冬の凍るような寒さから解放されたうれしさをしみじみと感じさせます。この展覧会では、「春」や「夜」をイメージさせる絵画・工芸作品を展示します。

また、今年度生誕100年を迎えた佐野市出身の日本画家・小倉芳司(おぐら・よしじ、1909～2006)を特集します。夜の梅を描く《春の宵》を中心に、夜の闇の中の微かな光を印象的にとらえた画家の世界をご堪能ください。

●小特集● 小倉芳司—《春の宵》を中心に—

※佐野出身・足利住の日本画家。大作を中心に約10点で構成



↑小倉芳司《春の宵》[はるのよい]★
昭和63年(1988)



↑小倉芳司《山湖》[さんこ]
昭和43年(1968) 第11回新日展

↓小倉芳司《芽吹く丘》[めぶくおか]
昭和52年(1977) 第9回改組日展



↓小倉芳司《爽涼》[そうりょう]★
昭和14年(1939) 第3回新文展

小倉芳司(1909～2006) 佐野市出流原町生まれ。旧制佐野中(現佐野高校)卒業後上京、小堀鞆音・川崎小虎・東山魁夷に師事。疎開を機に妻の郷里足利に画室を構え日展を中心に活躍。日展会友(1980)、栃木県文化功労者(1980)。

★春の夜の音楽会★

ハープ・大村典子コンサート

※生涯学習課ウィークエンドセミナー連携事業

・日時 3月21日(日) 午後6時～7時 ・会場 佐野市立吉澤記念美術館

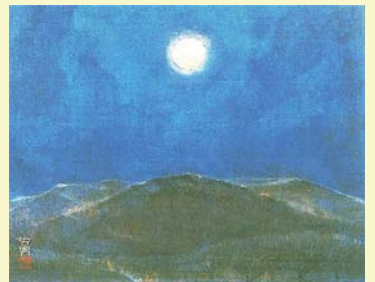
・定員50名、要申込(2月21日電話受付開始/0283-86-2008)、参加無料

3/21は展覧会も午後8時まで
ご覧いただけます!
(観覧有料)

その他の主な作品

※工芸(陶芸・ガラス)約15点、絵画約10点

右列上から↓
松本哲男《三義・月光》★、塚原哲夫《幻春》☆



↑左列上から
板谷波山《天目茶碗 銘「黎明」》★
藤田喬平《飾箱「花吹雪」》★(ガラス)
田村耕一《青磁椿文壺》★

※★=当館所蔵、☆=当館寄託、無印=個人蔵

●平成22年1月30日現在の情報です。内容が変更になることがあります●
●本リリース掲載作品の一部について画像提供を行っています。yoshizawa@city.sano.lg.jp までお問合せください●

佐野市立吉澤記念美術館

〒327-0501 栃木県佐野市葛生東1-14-30

電話:0283-86-2008 FAX:0283-84-3655

美術館HP <http://www.city.sano.lg.jp/museum/>

●開館時間 午前9時30分～午後5時

●休館日:毎週月曜日(祝休日の場合は開館、翌日休館)、祝日の翌日(祝日の翌日が土・日曜の場合は開館)、展示替え期間、年末年始

●観覧料:一般500円(450円)、大学・高校生300円(270円)、中学・小学生100円(90円) ※()内は20名以上の団体料金